

## 河川工作物アドバイザー会議の経過報告・今後の予定

### 1 令和2年度（2020年度）河川工作物アドバイザー会議の開催経過と予定について

(1) 第1回目の会議（令和2年（2020年）9月28日（月）～29日（火）羅臼町及び斜里町）

- ・9月28日（月）現地検討会 羅臼町にて

羅臼川、サシルイ川、チエンベツ川において、河川工作物の改良効果について現地検討会を行いました。

- ・9月29日（火）室内会議 斜里町にて

第43回世界遺産委員会決議への対応、長期モニタリング計画の評価、ルシャ川の取組、第二次検討ダム（オッカバケ川）の改良実施状況などを議論しました。

(2) 第2回目の会議（令和3年（2021年）1月下旬頃に札幌市で開催予定）

### 2 令和2年度（2020年度）長期モニタリング取組状況について

知床世界自然遺産地域科学委員会 長期モニタリング実施計画に基づき、以下の調査について実施をしています。

(1) オショロコマの生息状況に関するモニタリング調査

知床半島内の遺産隣接地域を含む42河川の水温測定と、外来種侵入状況を探知することを目的とした環境DNA調査、12河川でオショロコマの捕獲調査等を実施中です。

(2) サケ類の遡上状況調査（隔年実施）

ルシャ川、テッパンベツ川、ルサ川について、カラフトマスの遡上数と産卵床数等について8月末から11月にかけて行う調査ですが、今年は休止年のため実施しません。

### 3 河川工作物改良効果検証について

平成18年度（2006年度）から24年度（2012年度）にかけて行った北海道森林管理局・北海道による河川工作物改良がサケ科魚類の遡上等に与える影響について、時期や水量変動に伴う遡上数の変化や産卵床の分布などの実態を明らかにし科学的に検証するため、8月から12月にかけて調査を実施中です。

### 4 第43回世界遺産委員会決議に係わる対応について

令和元年（2019年）9月に招聘したIUCN助言ミッションの報告書の勧告を受け、今後も評価や検討を重ね、必要に応じ見直しを行い管理していく順応的管理を継続します。

### 5 今後の予定

北海道森林管理局・北海道では、今後も、ルシャ川のダム改良、河床路実証試験及びオッカバケ川のダム改良を継続して実施します。本工事に当たっては、河川工作物アドバイザー会議の技術的な助言を得ながら、また、地元関係者から意見を伺いながら進めます。